

高等教育開発推進センター

(2)その他、特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果、世界的位置付け( ISI citation など)など。\* ISI データのない場合は、可能であればいろいろな指標を使って国内的位置づけを示す。

分野	取組と成果、世界的位置づけ	18年度の状況
<p><b>特筆すべき教育活動</b></p>	<p>1. 東北大学高等教育フォーラムの開催                      高校教諭参加の高大接続を目指す第4回高等教育フォーラムを開催した。</p> <p>2. プラクティカル・イングリッシュコースを開設し、優秀な学生の英語力向上を実現した。</p> <p>3. 「CALL 用プラットフォームの構築」の取り組み                      国立七大学外国語教育連絡協議会のサイバー・ユニバーシティ構想に基づく CALL 用プラットフォーム WebOCM を本学の独自性に適合するよう拡張した。</p> <p>4. 新しい情報教育カリキュラムの開発                      高等学校で「情報」(必修)を修めた学生が入学するのを機に、本学の全学教育情報教育の内容を全面改訂した。原理的事項を土台に、情報処理・活用・倫理を柱とする本学の情報教育は、他大学にはないバランスのとれた特徴的な内容である。</p> <p>5. 教育用計算機のアカウントを全学生に配布                      学生全員が本学の情報インフラとコンテンツに等しくアクセスできる環境を確保するため、学部1年次から大学院博士後期課程最終年次までのすべての学生に教育用計算機システムのアカウントを配布した。</p> <p>6. 学生支援相談に関する研修会の実施                      学生相談所は全学「部局学生支援相談担当責任者」協議会及び「東北大学における学生相談・学生サービスの展開を考える研究会」、「部局学生支援相談担当者へのカウンセリングの基礎に関する研修会」を開催して、部局においてハラスメント相談にあたる教職員の研修や、部局学生支援相談担当者向けにカウンセリングに関する研修等を実施した。</p>	<p>・平成18年5月19日開催。参加者124名。</p> <p>・18年度は学部学生47名、大学院学生27名が受講。</p> <p>・日本語、英語およびドイツ語教育改善のための環境を構築。</p> <p>・平成18年度第1 Semesterに実施済。</p> <p>・平成18年4月から実施済み。</p> <p>・協議会;平成18年7月5日・21日開催。</p> <p>・研究会;平成18年12月11日・19年1月18日開催。</p> <p>・研修会;平成19年3月13日開催。</p>
<p><b>特筆すべき研究活動</b></p>	<p>1. FD活動に関する調査研究                      本学全体の教育改善を目指したFD活動の推進と検証作業を継続的に実施した。</p> <p>2. 高校以下の教育の状況、教育課程の変化等に対応できるように、選抜方法区分による入学者の状況を追跡調査・分析した。</p> <p>3. 学部新入生の基礎的情報対応能力の分析                      高等学校新課程を修めた学生の入学を機に、本学の歴史で初めて、学部新入生のほぼ全員を対象に基礎的情報対応能力に関するアンケート調査を実施し、情報教育内容策定の基礎資料とした。</p> <p>4. 川内北キャンパスにおける無線LANシステムの導入                      独自に設計したシステム構成により、利用者の利便性と情報セキュリティを両立させる無線LANサービスを川内北キャンパスで展開した。</p> <p>5. 睡眠健診の導入                      肥満学生の増加に伴い、生活習慣病の予備群も増加している。中には授業中に過眠を伴うような睡眠呼吸障害の学生もいる。本学ではパルスオキシメータによる簡単なスクリーニング検査システムを導入し、個人面談方式の睡眠健診を行なっている。他大学にはない健診システムである。</p> <p>6. 東北大学の卒業生評価に関する調査                      キャリア支援センターでは、本学卒業・修了者の就職先企業を対象として、大学に対する</p>	<p>・報告書『東北大学のFD実施状況と展望』を刊行。</p> <p>・分析結果は高等教育開発推進センター紀要第2号に発表。</p> <p>・調査結果は高等教育開発推進センター紀要第2号に論文として公表。平成19年度継続実施予定。</p> <p>・サービス展開中。設計コンセプトと利用案内は高等教育開発推進センター紀要第2号で報告。</p> <p>・BMI&gt;30の高度肥満学生113名に対して個人面談方式の睡眠健診を行なった。</p> <p>・『東北大学の卒業生評</p>

高等教育開発推進センター

	<p>社会の要請を把握するためのアンケート調査を18年2月に実施し、その結果を分析し、報告書として取り纏めた。</p> <p>7. 東北大学の教育に関する卒業・修了者調査          キャリア支援センターでは、本学の卒業、修了者に対して、東北大学の学部卒業後10年程度を経ている卒業生、大学院修了生を対象に、職業生活や社会生活での経験に基づいた本学の教育への評価を得ることを目的としてアンケート調査を実施し、その結果を分析し、報告書として取り纏めた。</p>	<p>『価値に関する調査』報告書』を刊行。</p> <p>・報告書『卒業後10年の経験から見た東北大学の教育』を刊行。</p>
<p><b>特筆すべき社会貢献活動</b></p>	<p>1. 東北地区国公立大学との連携のもとに、平成18年度 IDE 大学セミナーとして第5回高等教育フォーラムを開催した。</p> <p>2. みやぎ県民大学の開講          入試開発室教員を中心に、みやぎ県民大学・大学開放講座「よりよき進路選択のために大学入試をめぐる最近の状況から」を開講した。</p> <p>3. SSH連続実験講座          宮城第一女子高等学校と連携しつつ、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)連続実験講座を開催し、高校と大学の教育的接続の事業を展開した。</p> <p>4. 東北呼吸ケアフォーラム          東北地区の医師のみならず看護師等コメディカルの方々、更には呼吸不全で悩んでおられる患者さんの参加のもとに呼吸ケアに関する研究成果の情報交換を行なった。</p> <p>5. 健康科学セミナーの開催          本学の保健管理センタースタッフのみならず近隣の大学の保健管理室勤務のスタッフを対象にしたセミナー</p>	<p>・平成18年11月9日開催。参加者62名。</p> <p>・のべ52名参加。</p> <p>・SSH連続実験講座の開催(平成18年8月1～2日)。</p> <p>・東北呼吸ケアフォーラムの開催(平成19年3月10日)約200名参加。</p> <p>・健康科学セミナーの開催。6回実施。毎回約20名参加。</p>